

2021年度東広島市教育委員会主催・広島大学マスタース共催市民講座 「東広島を楽しくスケッチしよう（高屋町編）」実施報告

広島大学マスタース会員 難波平人

講座名：東広島を楽しくスケッチしよう（高屋町編）

日時：11月2日（火）、9日（火）、16日（火）、23日（火）いずれも13:30～15:00

参加者：25名

第1回目と第2回目

高屋東地域センターホールに集合し、構図の決め方、着色の要領などを話した後、白市の旧木原家住宅周辺からの風景を各自選定、構図を決定し、形を取り、紙の白を生かすことに留意しながら着色し、1枚完成させた。

第3回目と第4回目

白市の歴史保存地区地域センターに集合し、空間や明暗表現、自然が持つ空気感・生命力、色の深さに注意してほしいことを話した。制作は民家などを中心テーマにし、各自1枚を完成させた。

4回とも、自然は生きている、従って作品も生き生きしてほしいことを目標に制作した。水彩、アクリル、油絵具の使用は自由とした。全員、一人2点の作品を完成させた。

難波を含め40点の作品を2022年1月5日（水）～10日（月）まで、“くらら”の東広島市民ギャラリーで、「東広島を楽しくスケッチしよう（高屋町編）」展として展示する。

参加者は絵を描くことで自然をよく観察し、自然の美しさや、高屋町の今まで感じなかった魅力を感じることができて有意義であったと喜んでた。



白市の街並



批評会を終えて